



【H避難所U運営Gゲーム】

○避難所HUGとは ※静岡県ホームページより抜粋

HUGは、

H (hinanzyo避難所)、U (unei運営)、G (gameゲーム) の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けました。

もし、あなたが避難所の運営をしなければならない立場になったとき、最初の段階で殺到する地域の方々や出来事にどう対応すれば良いのでしょうか。避難所HUGは、避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したものです。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

一段目	No.81 世帯番号54
二段目	【内浦地区長浜】
三段目	アオシマ 青島さん
四段目	男性：30歳
五段目	自宅：津波被害
六段目	世帯主 ・妻・長男
七段目	・長女
八段目	ケガ：なし ・自宅地震に遭遇し、避難してきた。

【一段目】

No. : カード番号

世帯番号：避難所に来た世帯毎の番号

※4人で来たら「同じ番号」が4枚続きます。

【二段目】

地区名など

【三段目】

氏名

【四段目】

性別・年齢

【五段目】

自宅の被害状況 など

【六段目】

世帯の間柄

【七段目】

けがの状態

【八段目】

備考、本人の言葉



【H避難所U運営Gゲーム】

【資料の準備】

- ・カードセット3種類 **長井崎中学校** **西浦小学校** **内浦小学校**
- ・図面関係：「避難所配置図」「体育館」「各教室」
- ・その他：筆記用具 付せん メモ紙

【ステップ1】

- ・「読み上げ係」を決めましょう。
- ※疲れたら遠慮せず、途中で交換してもかまいません。

【ステップ2】

- ・HUGを行うスペースを配置図など準備しましょう。

【ステップ3】

- ・条件の説明
- ・簡単な自己紹介

【ステップ4】

- ・読み手がカードを10枚読んだら置き、その他のメンバーは避難者の状況によって、ゲームスペースの上に置きます。
- ※そのカードは「100枚」＝「100人」分の避難者の対応
※途中に「イベントカード:20枚」が入っていますので、その課題(問題)に対応してください。

【ステップ5】

- ・班内で意見交換 「気づき」
- ※避難所の配置図について
※改善案

60

30



【H避難所U運営Gゲーム】

気づいたことなど書き留めましょう。

